



2015 Le Tour de France
SAITAMA
CRITÉRIUM

2015 ツール・ド・フランス さいたまクリテリウム

2015年10月24日(土) さいたま新都心駅周辺

Press Release

PR_009_0713_01

2015年7月13日

さいたま市長 清水 勇人が「2015ツール・ド・フランス」にて 「2015ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム」をPR

さいたま市長 清水 勇人（2015さいたまクリテリウム実行委員会会長）がフランスで開催中の「2015ツール・ド・フランス」にて「2015ツール・ド・フランス さいたまクリテリウム」（10月24日（土）、さいたま新都心駅周辺にて開催）を国内外に広く周知するための活動を実施いたしましたので、下記の通り報告いたします。

各日程の活動の詳細と清水市長コメントは別紙をご参照ください。

なお、「2015ツール・ド・フランス さいたまクリテリウム」の開催100日前となる7月16日（木）には、清水市長等による大会開催告知のチラシ配布や囲み取材を実施させていただきます。

— 記 —

さいたま市長 清水 勇人「2015ツール・ド・フランス さいたまクリテリウム」PR活動実施報告

- | | | | |
|-------|--|---|--|
| ■ 目 的 | フランスにて開催中の「2015ツール・ド・フランス」にて
「2015ツール・ド・フランス さいたまクリテリウム」を国内外に広くPRする | | |
| ■ 日 時 | 2015年7月8日（水）～9日（木） | | |
| ■ 会 場 | 2015ツール・ド・フランス | 第5ステージフィニッシュ地点（アミアン市）
第6ステージスタート地点（アブヴィル市） | |

●お問い合わせ先●

2015さいたまクリテリウム実行委員会事務局（さいたま市スポーツイベント課内）
〒330-9588 さいたま市浦和区常盤6-4-4 （平日8:30～17:15）
TEL: 048-829-1736 FAX: 048-829-1996 E-mail: sports-event@city.saitama.lg.jp

【URL】 saitama-criterium.jp [fb.com/letourdefrance.saitamacriterium](https://www.facebook.com/letourdefrance.saitamacriterium) twitter.com/saitamacrite

Press Release

PR_009_0713_02

■PR実施内容

●7月8日（水）

◎メディアセンターへの訪問

7月8日（水）、ツール・ド・フランス本大会のメディアセンターを訪問し、世界各国からツール・ド・フランスの取材に訪れているメディアに対し、「2015ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム」をプレゼンした。



○配布資料

チラシ（裏面英文）



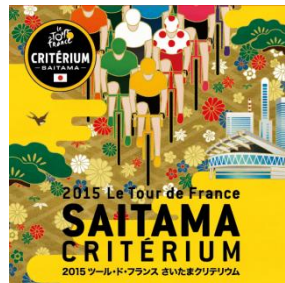
紹介資料（英文）



ステッカー



ミニタオル



※参考情報

ツール・ド・フランス取材者数（7月8日） 世界約30か国250名

Press Release

PR_009_0713_03

◎第5ステージ表彰式で登壇

第5ステージの表彰式にプレゼンターとして登壇した。第5ステージ終了時点で総合首位のトニー・マルティン選手（エティックス・クイックステップ所属）らと握手を交わし、栄誉を称えた。会場内では清水市長の登壇がアナウンスされた。



トニー・マルティン選手（写真右）

©Yuzuru SUNADA



アンドレ・グライペル選手（写真右）

©Yuzuru SUNADA

◎アミアン市長、副市長との会談

第5ステージフィニッシュ地点であるアミアン市のブリジット・フル市長、ギヨーム・デュフロ副市長と会談した。ツール・ド・フランスの誘致に関する意見交換や、「2015ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム」をはじめ、さいたま市が誘致している「さいたま国際マラソン」、「第8回世界盆栽大会inさいたま」を紹介した。



アミアン市ブリジット・フル市長（写真右）



アミアン市ギヨーム・デュフロ副市長（写真左）

◎A.S.O.社 ジャン-エティエンヌ アモリ社長との会談

ツール・ド・フランスの主催者であるA.S.O.社のジャン-エティエンヌ アモリ社長と会談した。ツール・ド・フランスの開催期間中において、今後も引き続きツール・ド・フランスさいたまクリテリウムのPRに協力いただくことを依頼した他、大会運営の改善点などについてディスカッションを行った。

Press Release

PR_009_0713_04

●7月9日（木）

◎スタートヴィレージにて囲み取材

海外・国内メディアを対象に第6ステージのスタートヴィレージにて取材を受けた。



©Yuzuru SUNADA



大会ディレクター クリスティアン・プリュドム氏（写真左）

©Yuzuru SUNADA

○主な質問と回答

・ツール・ド・フランスさいたまクリテリウムを行う目的は？

地域おけるスポーツの振興、経済の活性化、市のブランドイメージ向上、自転車文化を広く市民に向けて普及させていくことを目的としている。

・2015年で3回目の開催となるが？

1回目より、2回目、そして3回目と運営体制が改善できていると感じるとともに、さいたま市内のみならず日本国内での大会認知も年々上がってきているように感じている。

・今年出場を期待する選手は？

2013年、クリス・フルーム選手（チーム スカイ所属）、2014年、ヴィンチェンツォ・ニーバリ選手（アスタナプロチーム所属）と、毎年ツールの覇者が来てくれている。その2名にも注目しているし、今年のツール・ド・フランスで活躍した上位選手が参加してくれることも期待している。

◎第6ステージスタートセレモニーで功労賞を受賞

第6ステージのスタートセレモニーに過去ツール・ド・フランスで5回総合優勝を果たしている、ベルナール・イノー氏、大会ディレクターのクリスティアン・プリュドム氏らとともに登壇した。

ツール・ド・フランスの文化を広めたものとしてツール・ド・フランスさいたまクリテリウムが紹介されるとともに、清水市長が功労賞メダルを受け取った。



©Yuzuru SUNADA



Press Release

PR_009_0713_05

◎出場選手を激励

第6ステージのスタート前に、2014年さいたまクリテリウム ポイントレース2の優勝者である、アルノー・デマール選手（エフデジ所属）や2013年さいたまクリテリウムに出場したルイ・コスタ選手（ランプレ・メリダ所属）を激励した。

※これらの選手の大会出場が決定したわけではありません



アルノー・デマール選手（写真左）

©Yuzuru SUNADA



ルイ・コスタ選手（写真左）

©Yuzuru SUNADA

◎アブヴィル市長、前スポーツ担当大臣と会談

第6ステージスタート地点アブヴィル市のニコラ・デュモン市長、ヴァレリー・フルネロン前フランス国スポーツ担当大臣と会談した。ツール・ド・フランスの誘致に関する意見交換や「2015ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム」をはじめ、さいたま市が誘致している「さいたま国際マラソン」、「第8回世界盆栽大会inさいたま」を紹介した。



アブヴィル市ニコラ・デュモン市長（写真左）



ヴァレリー・フルネロン
前フランススポーツ担当大臣（写真右）

■清水 勇人市長コメント

世界的にも注目度の高い「2015ツール・ド・フランス」で大会のPRができた今回の活動は、世界中のメディアを通じて「2015ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム」を発信していただくきっかけになり、さいたま市を国内外に知っていただく大きな機会を創出することができました。また、レース開催地域の熱の高さを体感し、改めてツール・ド・フランスの魅力を実感しました。

大会を開催するにあたり、そうしたツール・ド・フランスのイメージを日本にもたらすさいたまクリテリウムの価値を発信していきたいと考えています。

Press Release

PR_009_0713_06

今後のPR活動予定

大会開催100日前の7月16日（木）から、様々なPR活動を実施いたします。

■大会開催100日前PR（さいたま新都心駅 改札前 東西自由通路）

7月16日（木）、さいたま新都心駅にて清水勇人市長が参加し、大会のPR活動を実施いたします。

◎日時 7月16日（木） 18:45～19:30（清水市長は19:00～の参加となります）

◎場所 JRさいたま新都心駅 改札前 東西自由通路

◎内容 18:45～ チラシ配布（実行委員会事務局職員）

19:00～ チラシ配布（清水市長、さいたま市PRキャラクターつなぐ竜ヌウが合流）

19:15～ 清水勇人市長囲み取材対応

19:30 チラシ配布終了

■大会PR懸垂幕およびPRバナーによる装飾（さいたま新都心駅 改札前 東西自由通路）

■大会PR動画の放映（さいたま新都心観光案内所ビジョン）

※動画は大会公式ホームページ（<http://saitama-criterium.jp/photo/a-movie/>）にて公開中

■カウントダウンフォトを大会公式ホームページにて掲載

以上